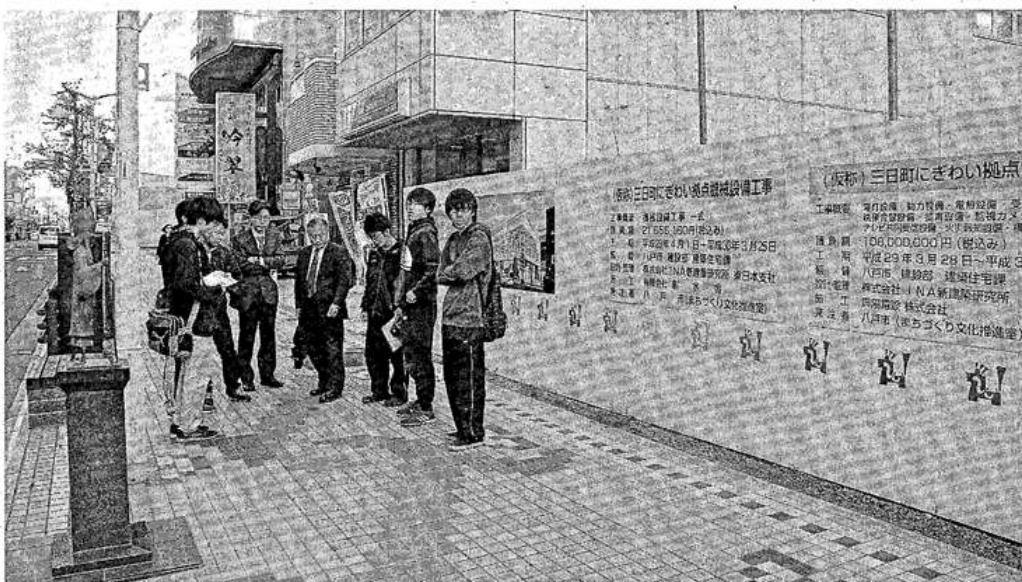


デーリー東北
2017年(平成29年)11月6日(月曜日)(17)

中心市街地の状況を調査する学生ら



具体的対策 市に提案へ

同大と市、第三セクター「まちづくり八戸」の3者は昨年度、中心街の課題解決に向けた連携協定を締結し、活動の一環として、「花小路」の整備案を模索していた。本年度は花小路に加え、中心街を走る国道340号の歩道整備案や、現在建設中の「マチニワ」とはっちの間を歩行者が安全に移動する方法など、計六つの課題を取り組む。

10月31日は、38人の学生が課題ごとに6班に分かれ、中心街を実際に歩いたり、建物を写真に収めたりして、現状を調べた。

マチニワとはっちの間の移動について調べた土木建築工学科3年の山崎雅登さん(21)は「実際に見てみると、思ったよりも車通りが多くなった。採用してもらえるアイデアを提案したい」と話している。

(反応)三日町にぎわい拠点会
工事監督:河合尚義・鈴木哲典・青柳俊輔・安城力士
監修会社:日立建設・岩井建設・新潟労働者・堀川
建設会社:八戸市・株式会社・建設住宅課
施工会社:株式会社・八戸市新庄塗装研究所
開発会社:株式会社
八戸市(まちづくり文化推進室)

八戸

八戸工業大(長谷川明徳長)の学生らが、八戸市中心市街地の課題解決に向けた取り組みを始めた。学生が街中に出で、車の交通量や歩道の欠損状況などを調査。来年1月末ごろまでに結論をまとめ、市に具体的な対策を提案する。(福田駿)

八戸 大生 中心市街地を調査

課題解決策 学生目線で